

〔参 考〕

1. 八丁原バイナリー発電施設の概要

項 目		仕 様
設置台数		1
メーカー		オーマット社（イスラエル）
定格出力	発電端	2,000 kW（2,230 kVA, 力率0.9）
	送電端	1,720 kW
媒体蒸気	圧力 / 温度 / 流量	1.09 MPa* / 133.2 / 105.77 t/h
蒸気・熱水	圧力 / 温度	0.304 MPa* / 143.1
蒸気流量		17.825 t/h
熱水流量		64.14 t/h
タービン型式		衝動横置2段復水タービン
発電機型式		横置円筒回転界磁形同期発電機
復水器型式		空冷式
熱交換器型式		横置シェルアンドチューブ型
制御方式		中央制御方式による常時監視自動制御

（* MPa：メガパスカル 圧力の単位）

2. 開発経緯

平成15年 5月	基礎工事開始
平成15年 8月	着工
平成15年11月	初並列
平成16年 2月	実証試験開始

3. RPS制度（Renewables Portfolio Standard）の概要

電気事業者による新エネルギー等の利用に関する特別措置法
平成14年6月公布，平成14年12月一部施行，平成15年4月全面施行

RPS制度とは、「電気事業者による新エネルギー等の利用に関する特別措置法」に基づき、エネルギーの安定的かつ適切な供給を確保するため、電気事業者に対して、毎年、その販売電力量に応じた一定割合以上の新エネルギー等から発電される電気（以下、「新エネルギー等電気」という。）の利用を義務付け、新エネルギー等の更なる普及を図るものです。

項 目	内 容
新エネルギー等 利用義務対象者	一般電気事業者，特定電気事業者，特定規模電気事業者
新エネルギー等電気 対象エネルギー	風力，太陽光，地熱，水力（水路式の1,000kW以下の水力発電），バイオマス（動植物に由来する有機物であってエネルギー源として利用することができるもの）
利 用 目 標	経済産業大臣が，4年ごとに，総合資源エネルギー調査会の意見を聴いて，当該年度以降の8年間に電気事業者が利用する新エネルギー等電気の利用量の利用目標を定める。現在の利用目標は，平成22年度において全国で122億kWh/年（全国の販売電力量の1.35%相当）